

最新手机发展情况

想必在各位当中，有手机的人一定很多吧。手机其款式、机能及性能日益进化，如今它已经成为我们现代人不可或缺的通讯工具。此期，我们就给大家介绍一下近一段时间日本的手机发展情况。

手机是1987年首次亮相于日本的，而真正普及开来的时间，据说是在1995、1996年左右。其后手机数量急剧增加，据2008年内阁府进行的调查显示，手机的家庭普及率已经达到了90.5%（包括单身）。甚至有的人一人就拥有数只手机。

现在日本的移动通信公司（除PHS以外）有NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、au（KDDI，沖縄セーラー電話）、イー・モバイル一共四家。各家公司竞相在新款式、高性能、低价格以及优良服务等方面寻求优势、展开竞争。

常常有人问：哪家通信公司好呢？这首先需要明确手机的使用目的。因为各公司所提供的服务内容，可以说各有短长，所以无法一概而论地断定哪家公司好，哪家公司差。只是打电话或发送短信的频率比较高的话，最好选择跟对方相同的通信公司，因为这样一来，通信费用的优惠便会多一些。

原本从电话机这一功能诞生的手机，现在除了通话以外，已经拥有十分广泛的用途。发送短信、钟表・闹钟功能，拍照、浏览网页、计算器、挂历、通信簿功能，录像、电子游戏、便携式音乐放唱机・电视功能以及电子交易和手电筒等各种各样的功能。

在各项手机功能里，被人们利用频度最高的，就是发送短信。相信各位遗华孤儿也时常

最近の携帯電話事情

皆さんの中でも携帯電話を持っていらっしゃる方が大変多いと思います。デザインや機種や機能も日々進化していて現代人の大事なツールとなっています。

今回は、日本における携帯電話についての最近の事情について説明しましょう。

日本で最初の携帯電話が出現したのが1987年で、本格的に普及したのは1995、6年頃からと言われます。それ以後は急速に増え続け、2008年度内閣府の調査では世帯普及率が90.5%（単身世帯を含まず）にまでなっています。1人が数台の携帯電話を所有しているケースさえあります。

現在の日本の携帯電話事業者（PHSを除く）は、NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、au（KDDI，沖縄セーラー電話）、イー・モバイルの4社です。各社が競い合っただけでなく、機種のデザイン、機能の更新、価格の低下、サービスの向上を図っています。

よくどの電話会社が一番よいかという質問がありますが、まず利用目的をはっきりさせることが大切です。サービス自体についてはどの会社も一長一短ですので、一概にどこが一番いいかはっきり言えないのが現状です。ただ電話やメールをする場合は、よく連絡する相手と同じ会社のほうが、通信費の割引率が高いのでその会社を選ぶのがいいでしょう。

電話としての機能からスタートした携帯電話も通話以外の幅広い用途に使用され

通过手机与家人・朋友发送短信，取得联系吧。但是其中或许也有因为日语不太好而苦于发送短信；要不就是花费心血将日语的汉字找出来平凑成中文短信的朋友吧。

NTT ドコモの「docomo STYLE series N-02A」这款手机，可以用汉语输入或是浏览汉语网页。具体事宜敬请浏览下述网页：

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/foma/style/n02a/index.html> 或是直接咨询 NTT ドコモ手机营销店。另外，想用现在使用的手机发送中文短信的话，可以下载ヒューマンボンド公司开发的一种叫做“Hubmob（ハブモブ）”的多语言手机系统，只要支付一定的费用，那么无论 au 还是ソフトバンク，都可以用汉语来发送短信。具体事宜敬请浏览

<http://www.hubmob.jp.com>。

手机可以说已经成为现代人不可离身的交流・通信工具。我们希望上述内容能为想换手机的朋友、或是想买手机的朋友，提供些许参考。(M)



ています。メール、時計、アラーム、写真撮影、ウェブ閲覧、電卓、カレンダー、アドレス帳、ムービー撮影、ゲーム、携帯音楽プレーヤー、TV電話、電子マネー、懐中電灯など様々です。

最も携帯電話で使用される機能は、メールです。帰国者の方にとっても友人・家族とのやり取りでメールを活用されている方が多いでしょう。でも日本語力が不十分でメールが苦手という方がいるかもしれません。中国語でのメールも日本の漢字だけを組み合わせたりして苦労されているのではないのでしょうか？

NTT ドコモの「docomo STYLE series N-02A」という新機種は、中国語での入力や中国語のweb閲覧が可能になっています。詳細は

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/foma/style/n02a/index.html>

を見るか NTT ドコモ販売店にお尋ねください。また、現在使用している機種で中国語メールを打ちたいという方は、ヒューマンボンド社の「Hubmob（ハブモブ）」と呼ばれる多言語対応携帯電話システムをダウンロードして一定の料金を支払いさえすれば、au でもソフトバンクでも中国語入力は

可能です。詳細は <http://www.hubmob.jp.com> を見てください。

このように携帯電話は現代人にとってなくてはならないコミュニケーションツールの一つです。今後新しく購入を考えていらっしゃる方やこれから購入しようと考えている方は、参考にしてください。(M)